オルガノ株式会社
2018年3月期 株主説明会

（証券コード：6368）

2018年6月28日

本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．新たな経営理念・ビジョン

4．中期経営計画

5．株価・配当金の推移

6．コーポレートガバナンス改革

7．会社概要

本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．新たな経営理念・ビジョン

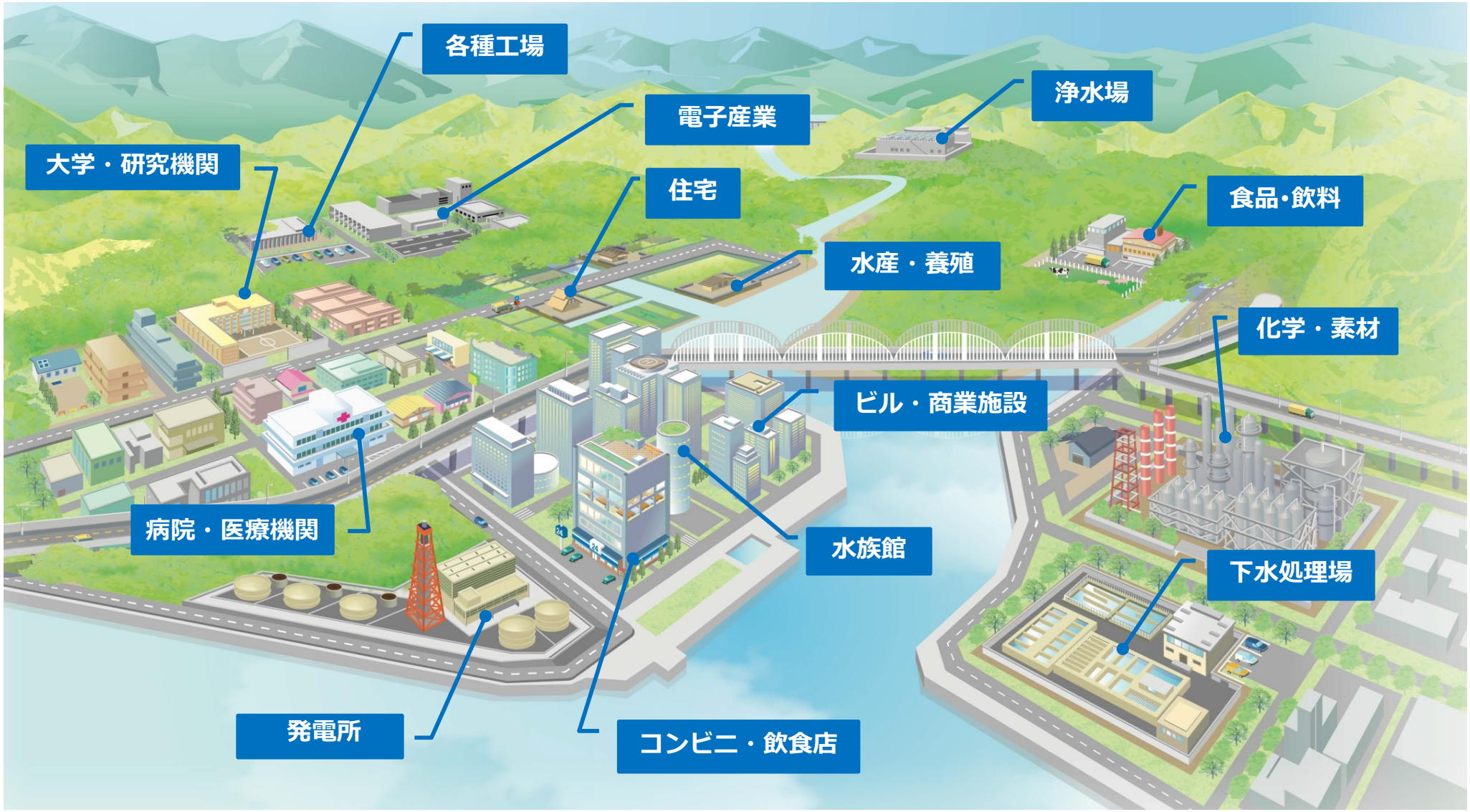
4．中期経営計画

5．株価・配当金の推移

6．コーポレートガバナンス改革

7．会社概要

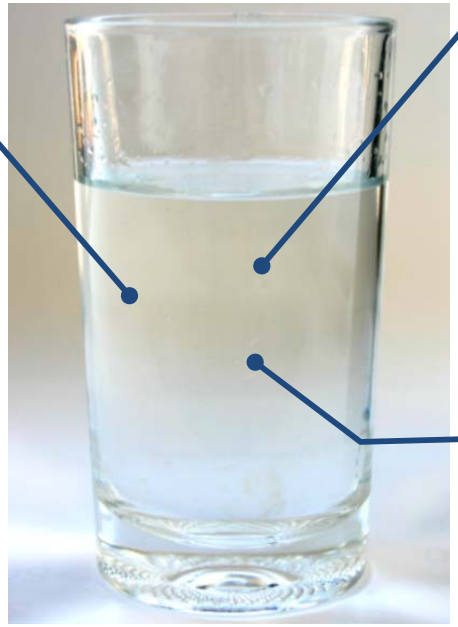
生活と産業を支えるオルガノの水処理技術



水処理の目的

水の中には・・・？

目に見えない微小なもの
：微生物(バクテリア・ウィルス)
：土壌由来の懸濁・コロイド物質など
⇒MF/UFなど膜処理



目に見えるもの
：砂・泥・藻類など
⇒凝集沈殿・砂ろ過処理

水に溶解しているもの
：無機イオン～砂糖や塩など
⇒RO膜・イオン交換処理

水処理とは「水質を目的・用途にあった最適な状態にすること」

⇒ CaやMgなどの硬度成分は飲料水・ミネラルウォーターには(適度に)

必要な成分だが、ボイラー用水や精密洗浄など工業用途では除去を行なう

水処理エンジニアリング

求められる水量・水質を満たす最適なシステムを構築

原水



主な水処理の技術	
凝集沈殿	砂・土・藻類
加圧浮上	油分
膜ろ過	鉄サビ、雑菌、ウィルス
イオン交換	溶け込んだ塩や金属イオンなど
生物処理	有機物
薬品処理	水質や処理速度をコントロール

処理水



回収物



廃棄物



原水は
「水＋物質」

→

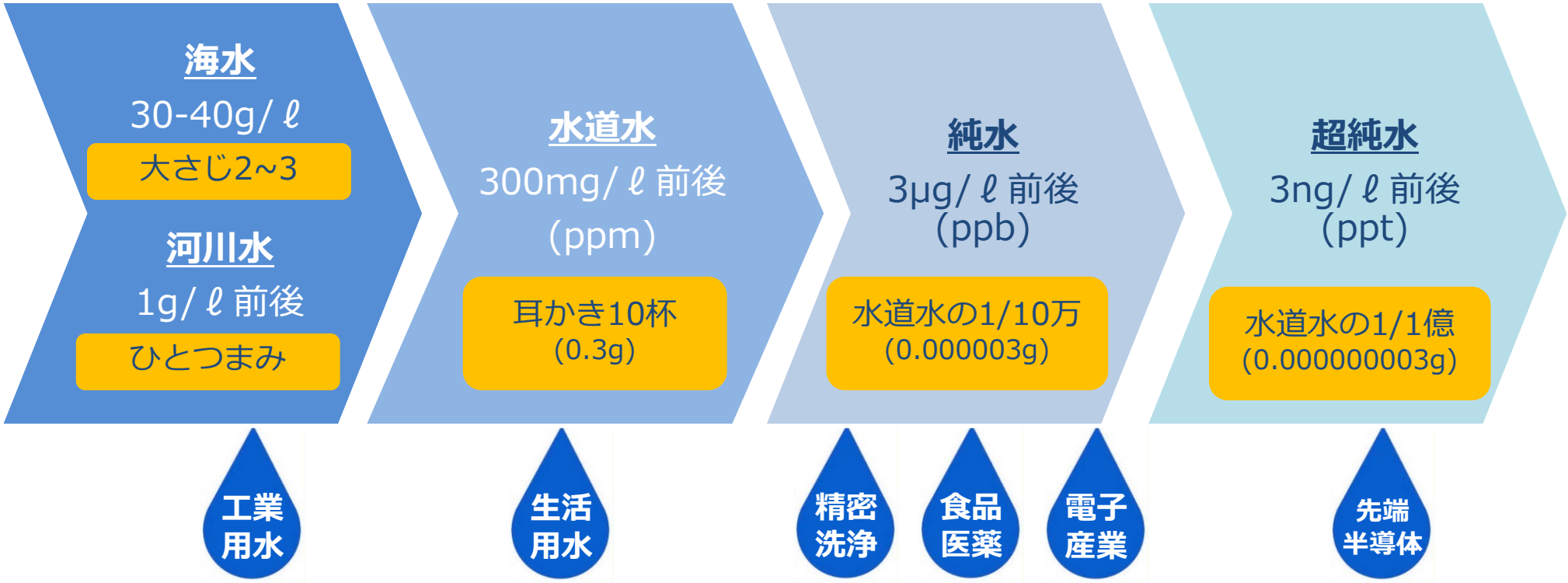
各種技術を組み合わせたシステムで
水と物質を**「分離・精製」**

→

処理水と
回収物を利用

純水・超純水とは？

＜1ℓ当たりの不純物量比較＞



＜処理の方法＞

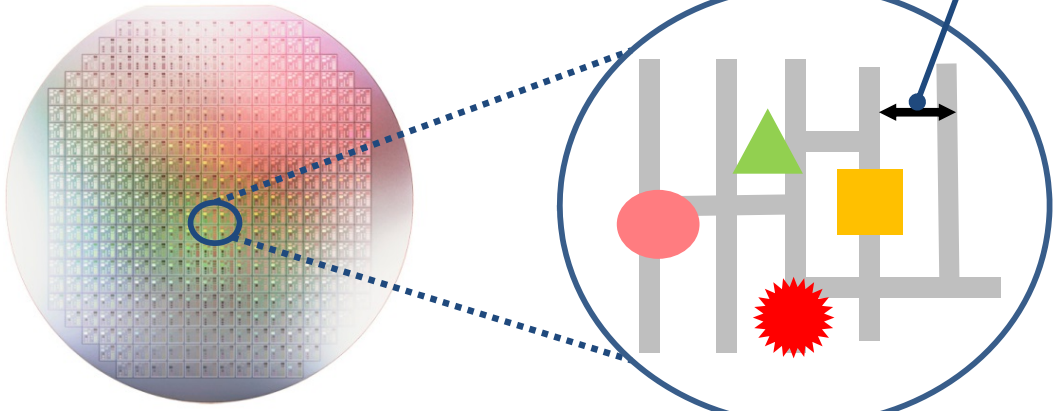
沈殿・ろ過 → **MF膜** → **UF膜** → **イオン交換樹脂・RO膜**

懸濁質(砂･粘土) →	細菌･藻→	ウィルス･微粒子 →	パーティクル →	糖類・溶解塩類
【1~1,000μm】	【＜1μm】	【＜30nm】	【＜10nm】	【＜1nm】

純水・超純水の用途

洗浄用途で求められる純水・超純水

食器・洗濯	水道水 (300mg/ℓ（ppm）)
精密機械・コンタクトレンズ	純水 (3μg/ℓ（ppb）)
半導体・電子部品・FPD	超純水（3ng/ℓ(ppt))



シリコンウェハー

最先端半導体の
回路幅（線幅）は
10ナノ以下

微粒子などが回路に付着すると
絶縁やショートが発生
⇒歩留まり(良品率）が悪化

**ナノレベルの
不純物まで
除去した
超純水が必要！**

本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．新たな経営理念・ビジョン

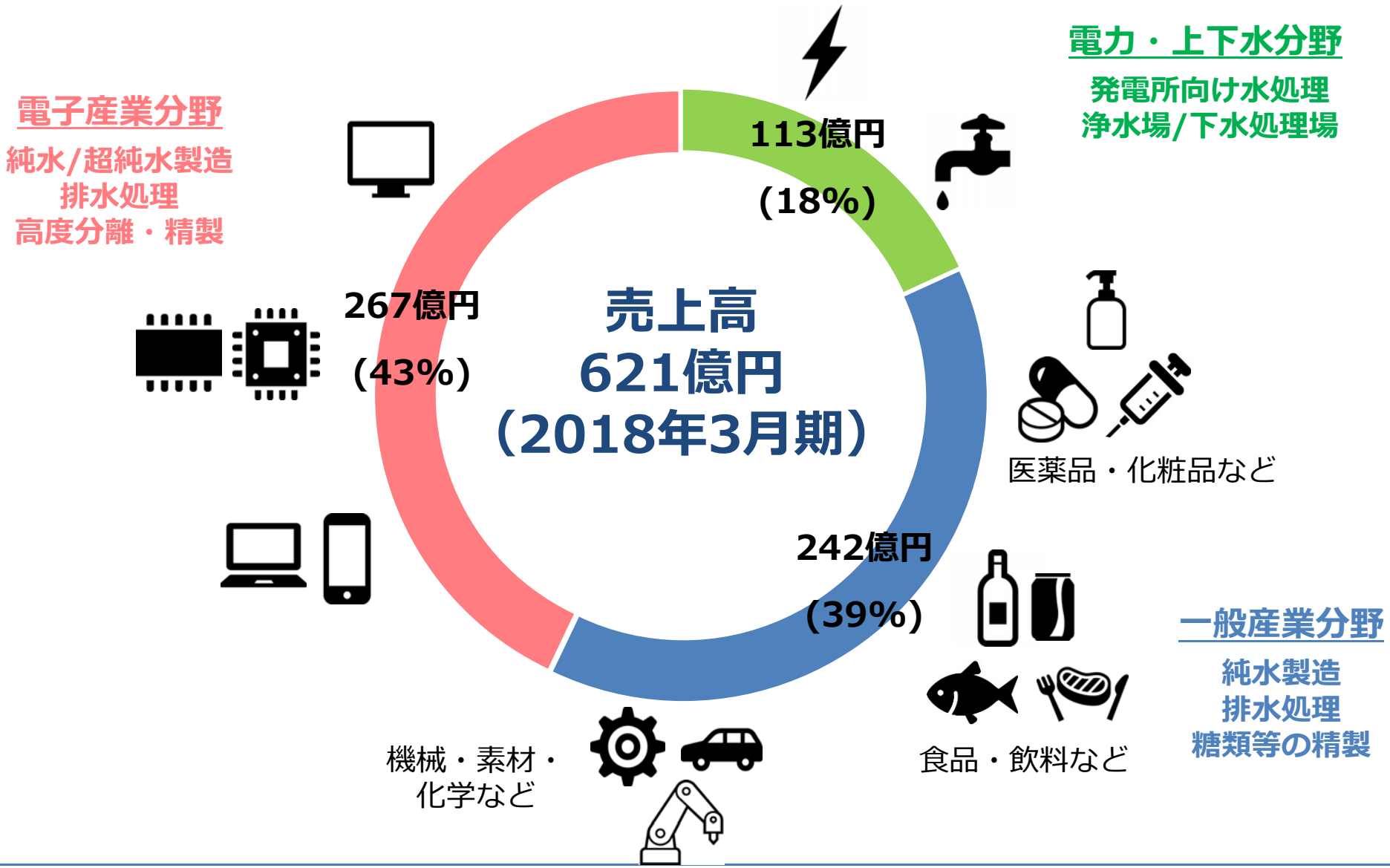
4．中期経営計画

5．株価・配当金の推移

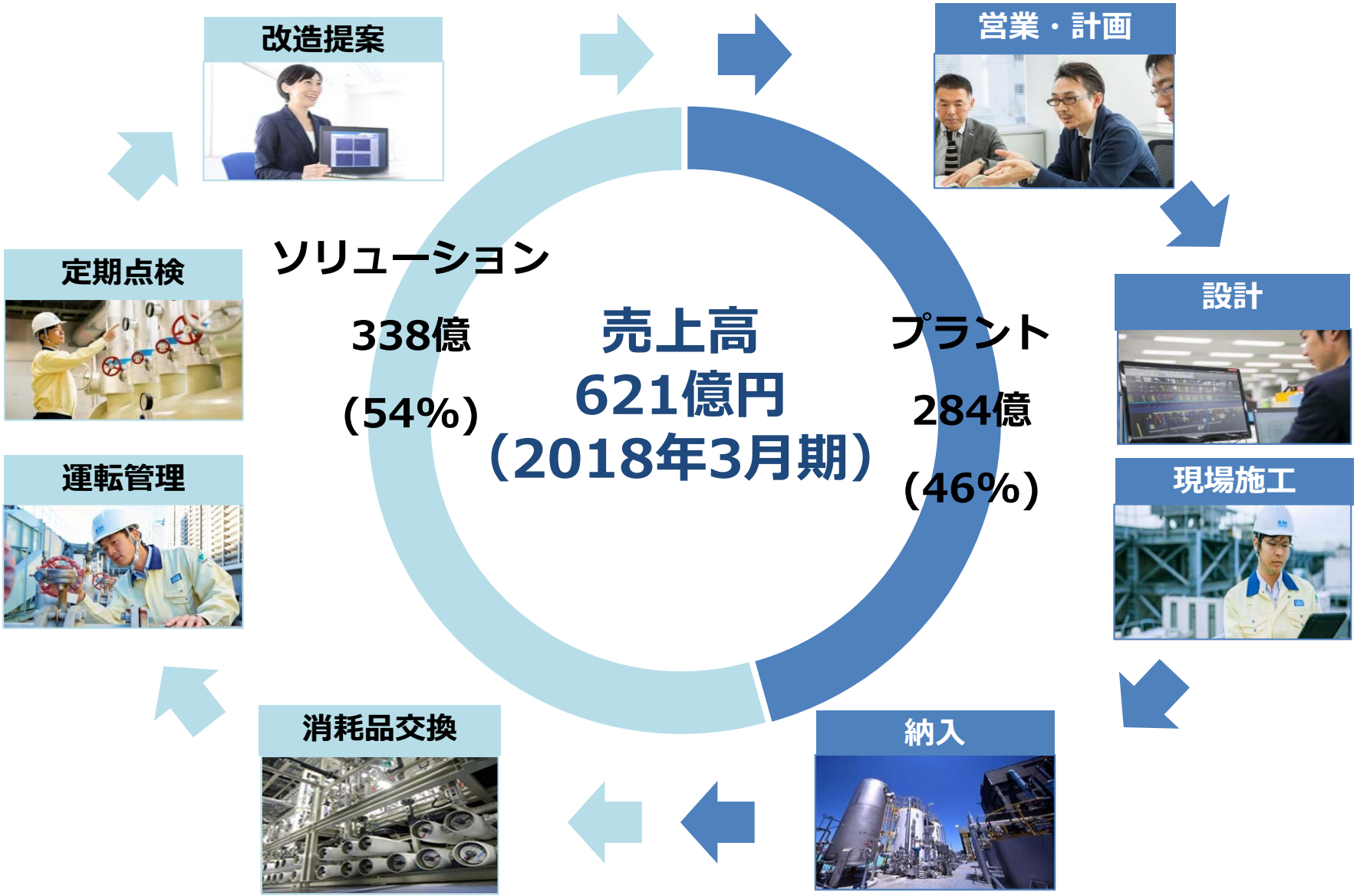
6．コーポレートガバナンス改革

7．会社概要

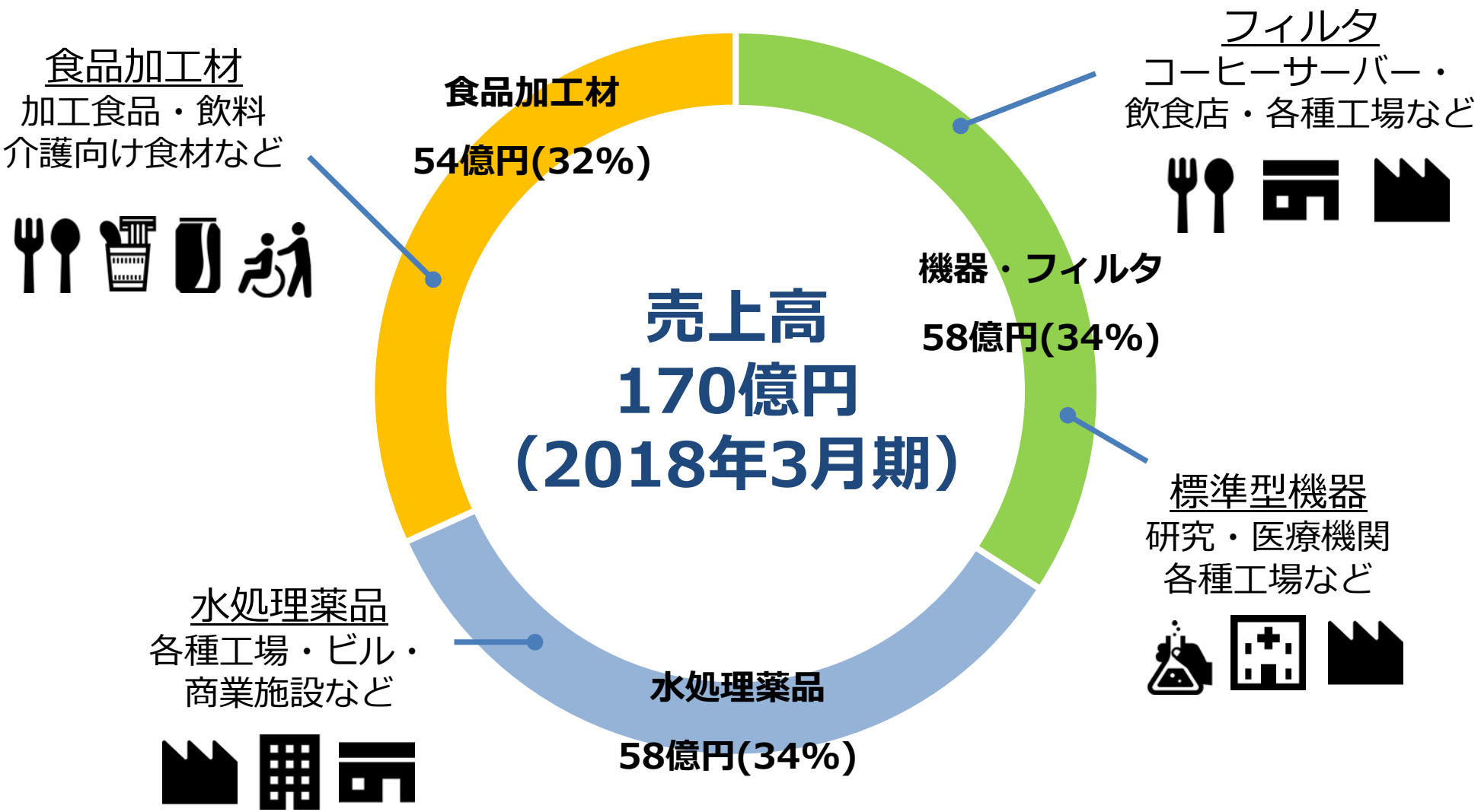
あらゆる産業に水処理技術で貢献：水処理エンジ事業



ビジネスサイクル：水処理エンジ事業



産業・生活に幅広く貢献：機能商品事業



本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．新たな経営理念・ビジョン

4．中期経営計画

5．株価・配当金の推移

6．コーポレートガバナンス改革

7．会社概要

新たな経営理念

経 営 理 念

オルガノは
水で培った先端技術を駆使して
未来をつくる産業と社会基盤の発展に貢献する
パートナー企業としてあり続けます

- オルガノは、水に関わる技術・サービスを幅広く展開し、**産業・環境・生活の発展と調和**に貢献する
- オルガノは、水で培った先端技術を、**水以外の領域にも展開**し、産業の発展や社会の課題解決に貢献する
- オルガノは、全てのステークホルダーの**パートナー**として、ともに経済的・社会的価値の創造を追求する

新たな長期経営ビジョン

長期経営ビジョン

付加価値の高い分離精製・分析・製造技術を基に
事業領域と展開地域を拡大し、
産業と社会の価値創造と課題解決を推進する
製品・サービスを絶えず提供します

昨日までのやり方を、明日に向けて、
今日変える人をつくり、
一人ひとりが働きがいと活力に満ちた企業を
構築します

新たな長期経営ビジョン

新たな事業領域の開拓

- 半導体ウェットプロセス
- 資源／エネルギー
- ライフサイエンス

水の精製・回収・再利用

高度水処理

- 用水（純水／超純水）
- 排水処理／水回収
- 機能商品



→ 水以外の領域へ

高度分離精製

- 二次電池
- 電子材料
- バイオ医薬
- 水熱利用システム



新たな市場の開拓

- アジアでのシェア確立
- 新市場への展開

アジアでのシェア確立

中国／台湾

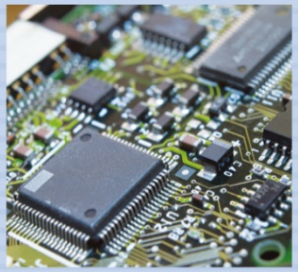
- 電子産業

東南アジア

- 電子／電力／一般

機能商品の展展開強化

- 機器／薬品／食品



→ 新市場への展開

インド

- 電子産業の勃興

北米

- 最先端半導体
- 上下水道の更新需要



新たな中期経営ビジョン

中期経営ビジョン

主要アジア経済圏において、**電子分野**をはじめとする産業に、
最適な品質の水を、最も合理的なコストで、最もタイムリーに
提供できる、収益力あるエンジニアリング会社

独自の分離精製プロセスにより、次世代産業の価値創造
を支える事業を創出する会社

高付加価値の**機能商品**を生み出し続け、グローバルに
展開する会社

本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．新たな経営理念・ビジョン

4．中期経営計画

5．株価・配当金の推移

6．コーポレートガバナンス改革

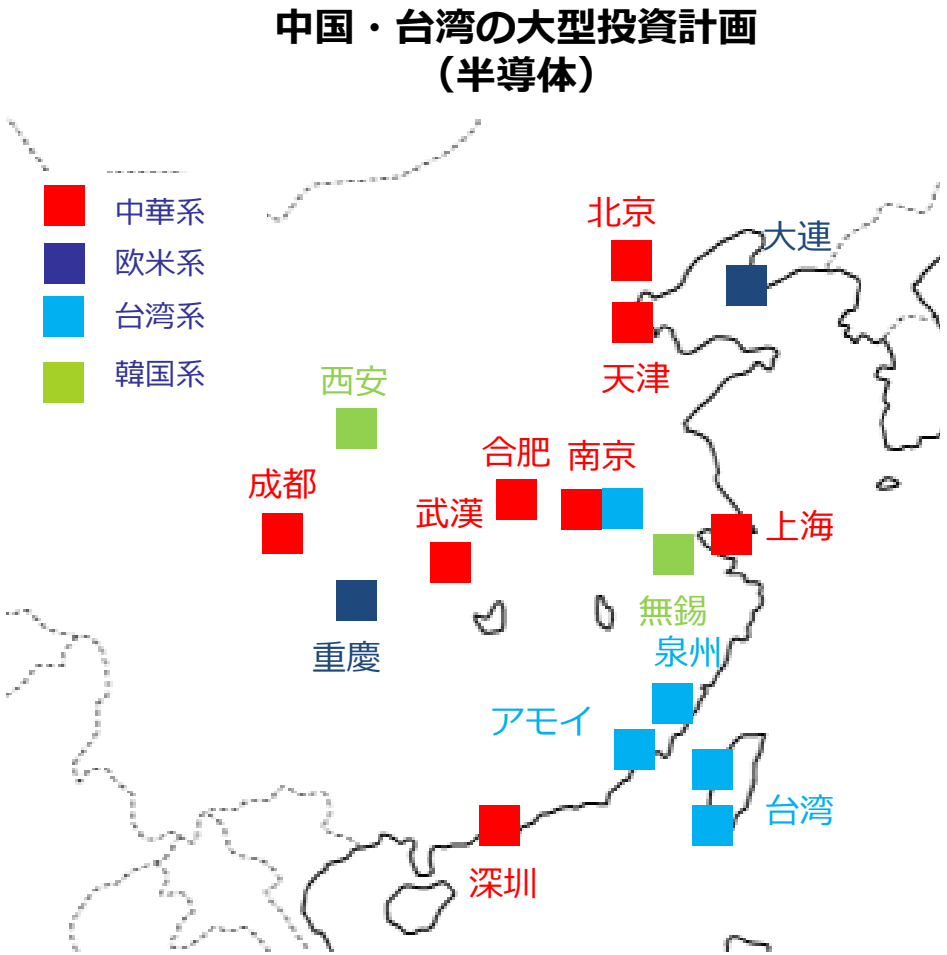
7．会社概要

中期経営計画 重点分野

重点分野は　電子産業　機能商品　新規事業

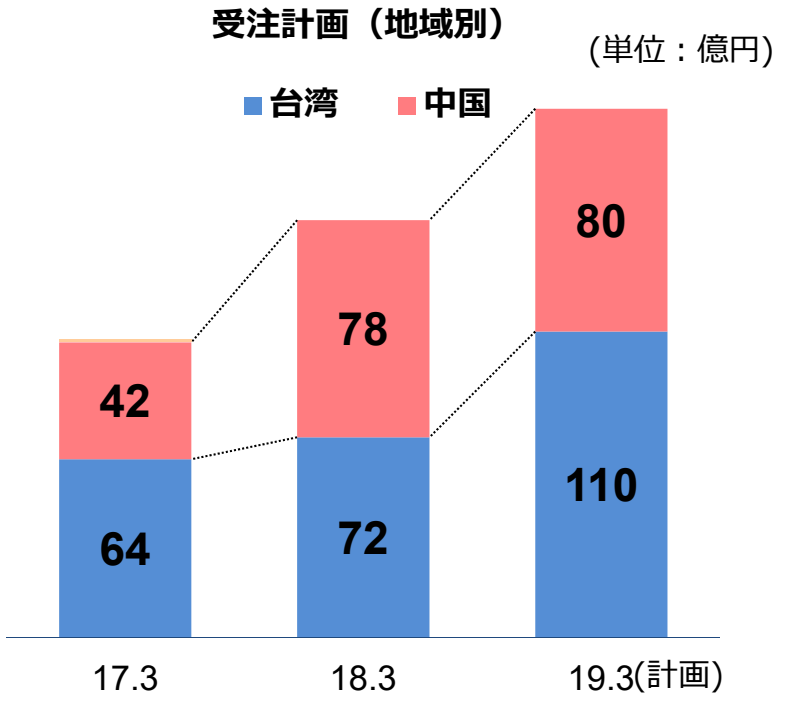
Advanced Technologies	Products	Targets
精製技術 イオン交換樹脂 キレート樹脂 ゼオライト 	**水処理エンジ事業** 超純水・純水、排水・回収 ソリューションサービス	**電子産業分野の拡大** 中国市場でのシェア拡大 ソリューションビジネス強化
	機能商品事業 標準型機器・フィルター 水処理薬品・食品加工材	**機能商品事業の強化** 新商品の開発と展開 海外販売の強化
分離技術 高分子膜 無機分離膜 	**新規事業** 溶剤・電子材料の分離精製 希ガス等の回収・分離精製	**新規事業の開拓** 二次電池・電子材料 バイオ医薬

中国・台湾では電子産業分野の投資が活発化



【中国】
国家主導で5兆円規模の
半導体投資計画(2020年まで)

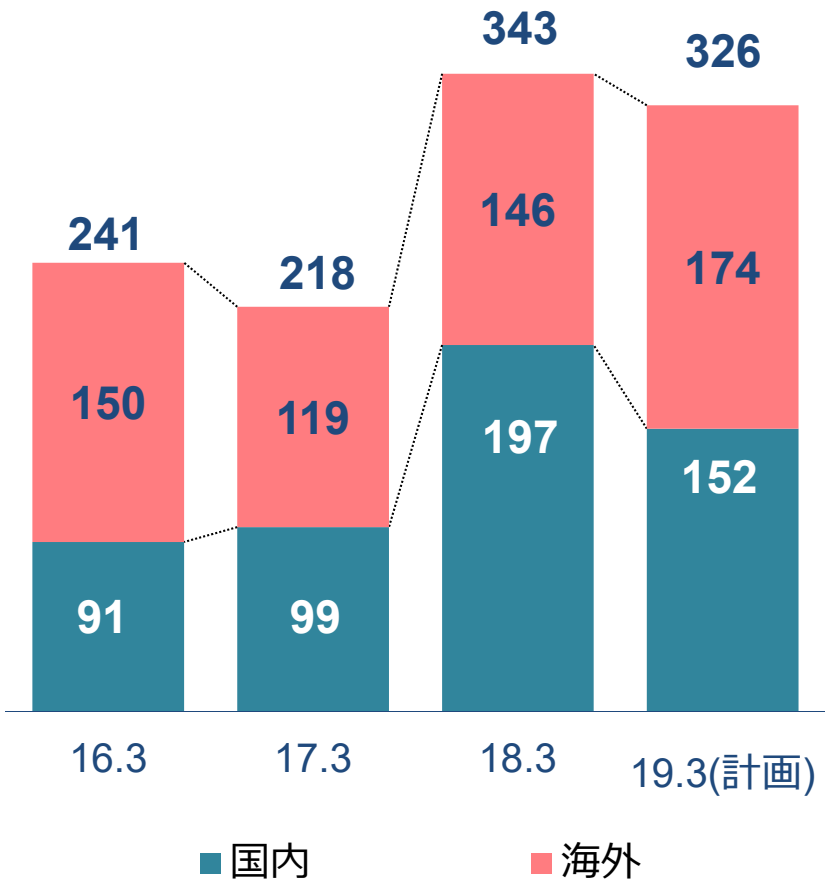
【台湾】
2016~17年は投資に一服感も、
2018年は投資回復見込む



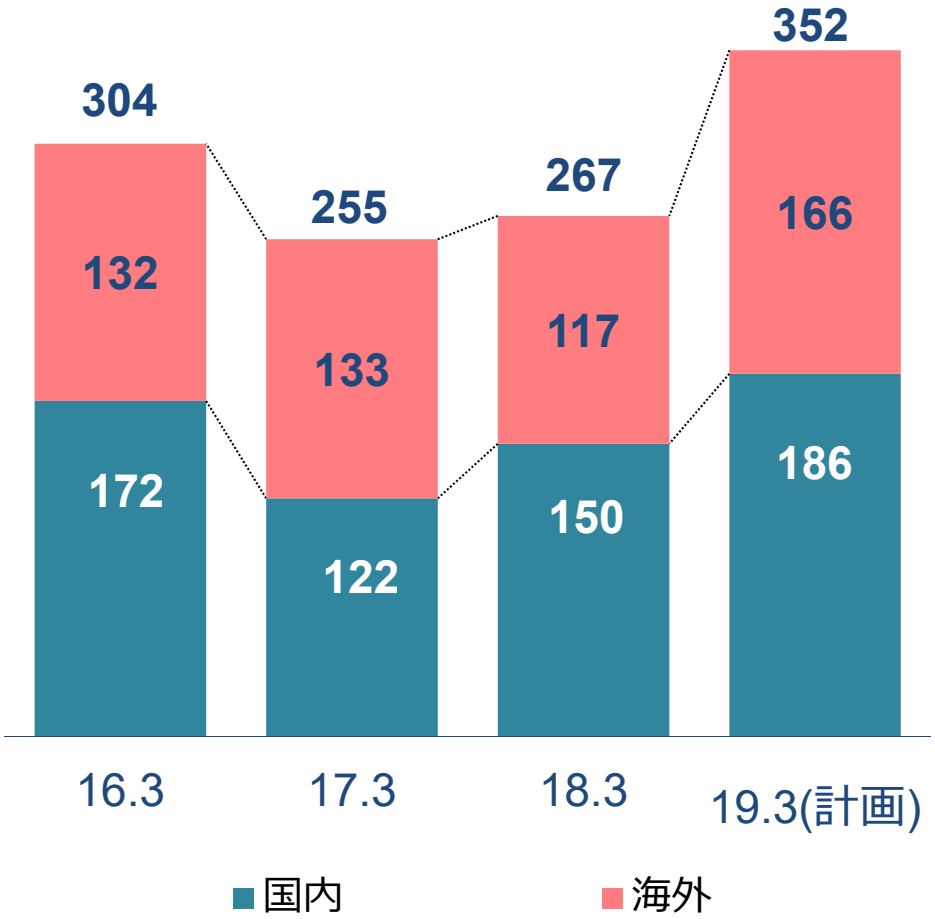
電子分野の受注・売上は高水準続く

（単位：億円）

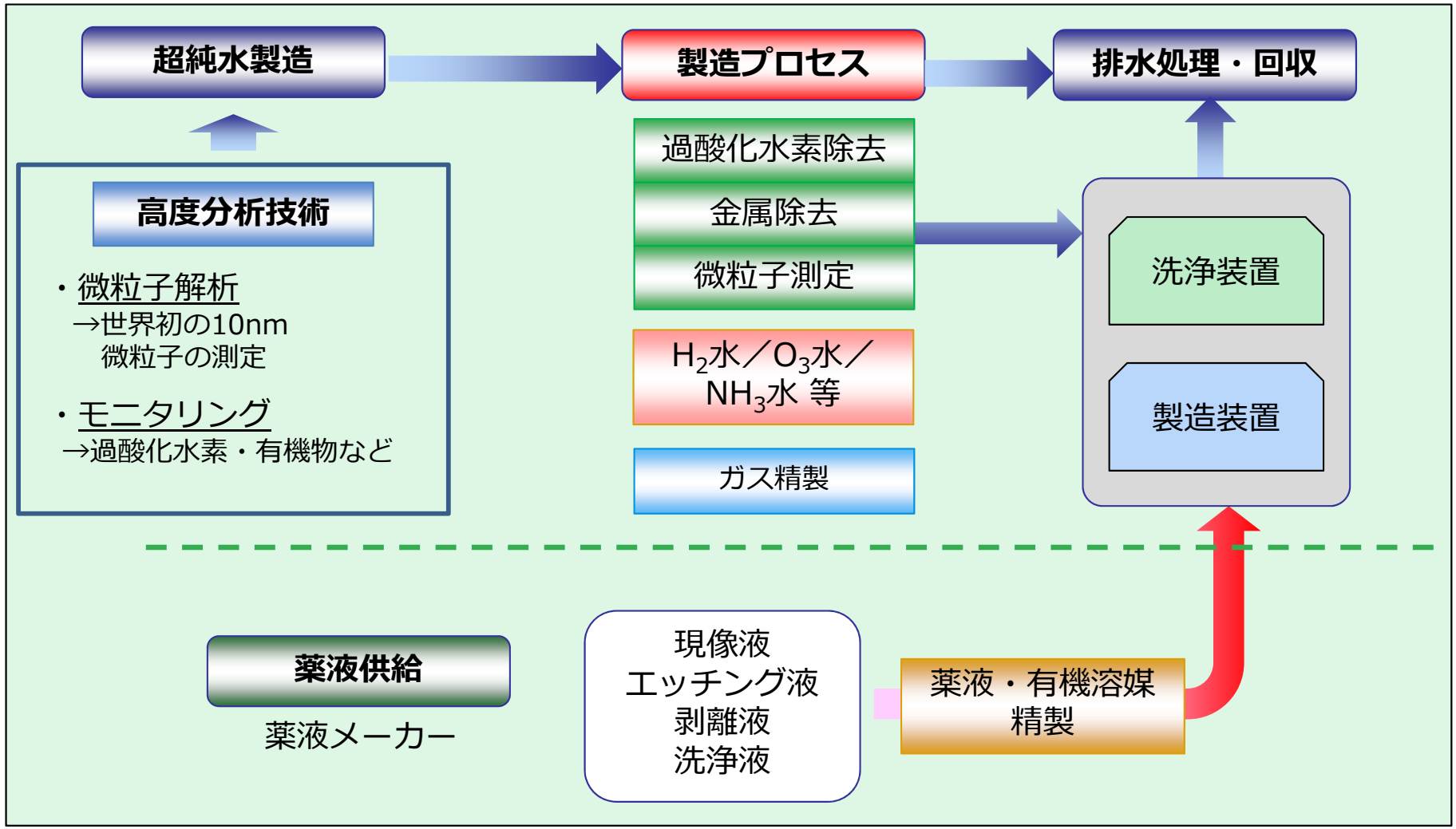
電子産業向け受注高



電子産業向け売上高



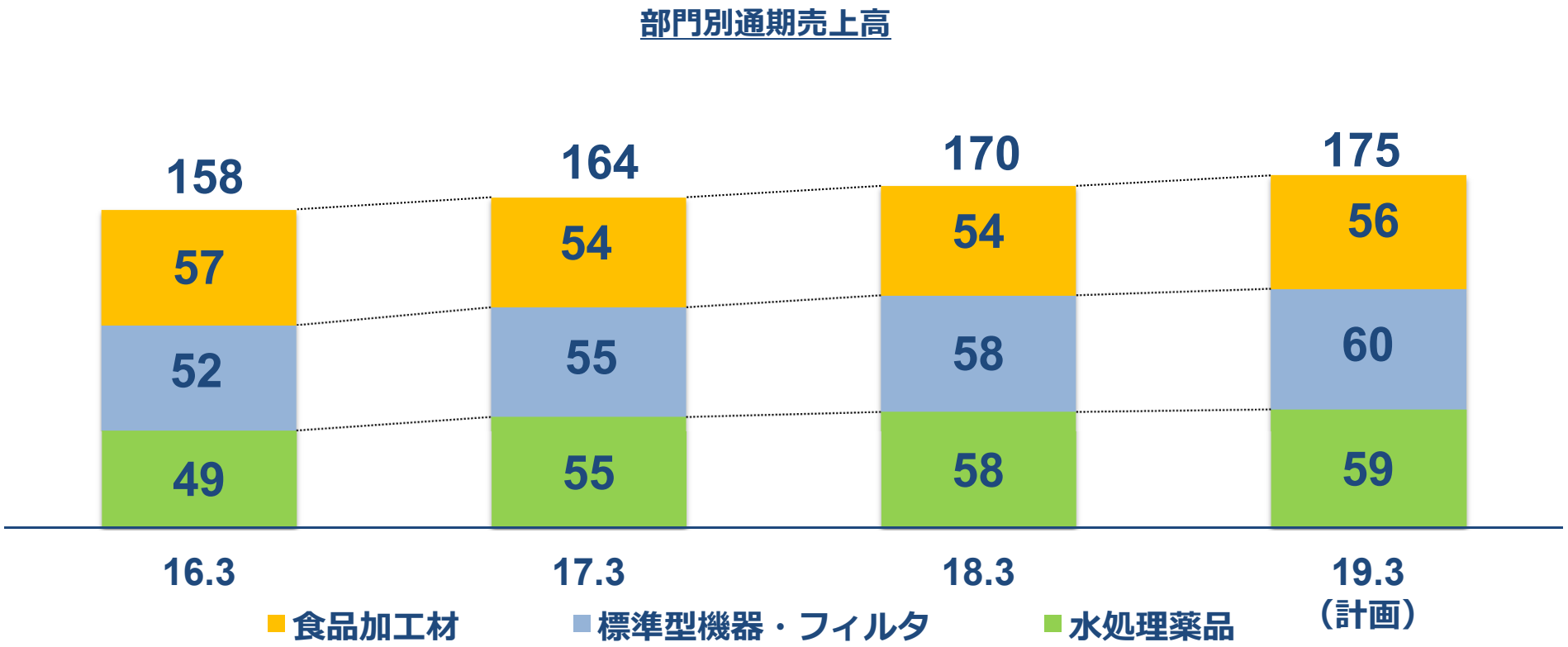
半導体の高度化・微細化に分離・精製技術で貢献



産業・生活分野に貢献する機能商品事業

標準型機器：ラインアップの強化、海外展開による売上増を計画
水処理薬品：引き続き海外展開を強化し、売上増を狙う
食品加工材：介護食品向けの顆粒加工品等での売上増を計画

（単位：億円）



高齢化社会・健康生活への貢献

＜食品加工材＞

■ カードラン ～ 微生物の発酵作用によってブドウ糖からできる増粘多糖類

・麺：弾力・コシの付与、のびの抑制
・食肉加工品：弾力の付与
・冷凍/冷蔵スポンジケーキ：食感改善
・高齢者・介護用食材：顆粒加工により食材を
ゲル/ピューレ化(誤嚥防止効果)

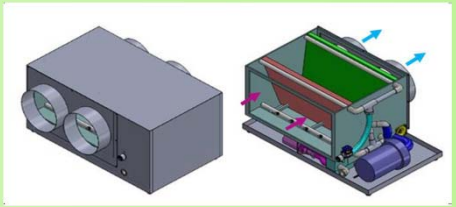


＜空気浄化装置＞

■エアワッシャー

フィルターを使わず、電解水により空気を浄化

・SOx/NOxや臭気などを水に溶かし込んで除去
・スギ花粉やタバコ、建材由来の物質などにも有効
・水を利用することで調湿機能やメンテフリーを実現



新規事業の開拓

水処理で培った分離・精製技術を展開

リチウムイオンバッテリー市場

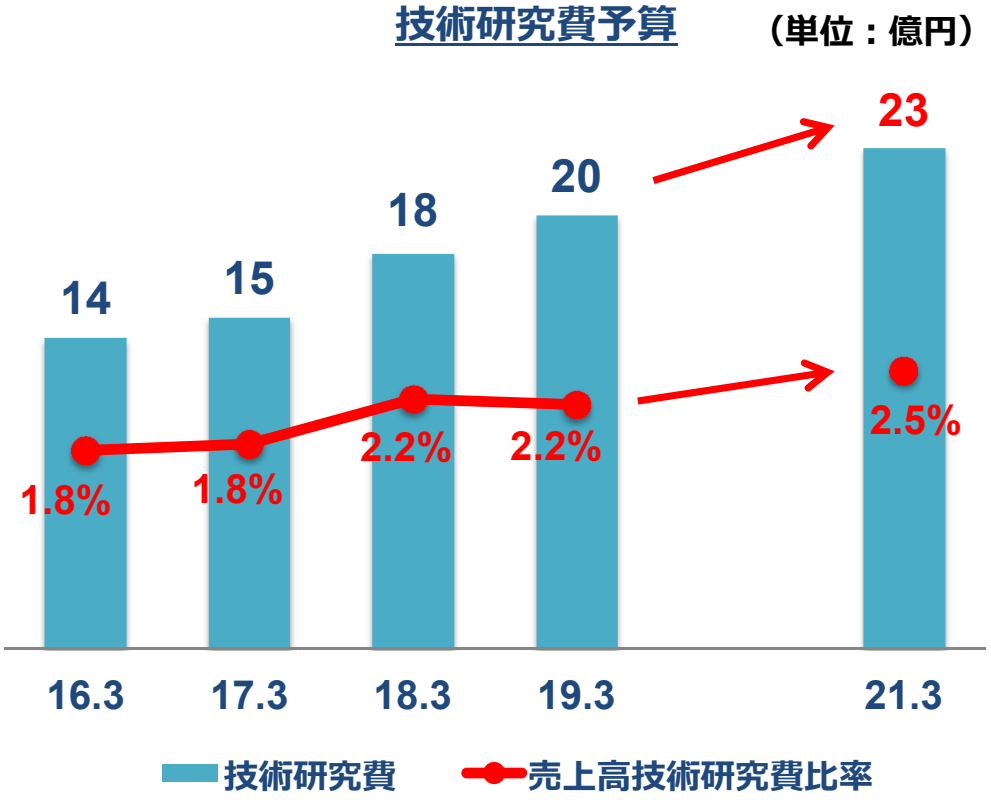
バッテリー製造に用いられる溶剤類の精製に
当社の分離・精製技術を展開



- **リチウムイオンバッテリーの正極製造に用いられる溶剤(NMP)の<u>オンサイトリサイクル設備</u>**
- **バッテリーの性能向上・長寿命化に貢献する<u>電解液の精製技術</u>**
- **急拡大する<u>EV向け電池</u>をターゲットに展開**
  （中国・韓国・日本・欧米）

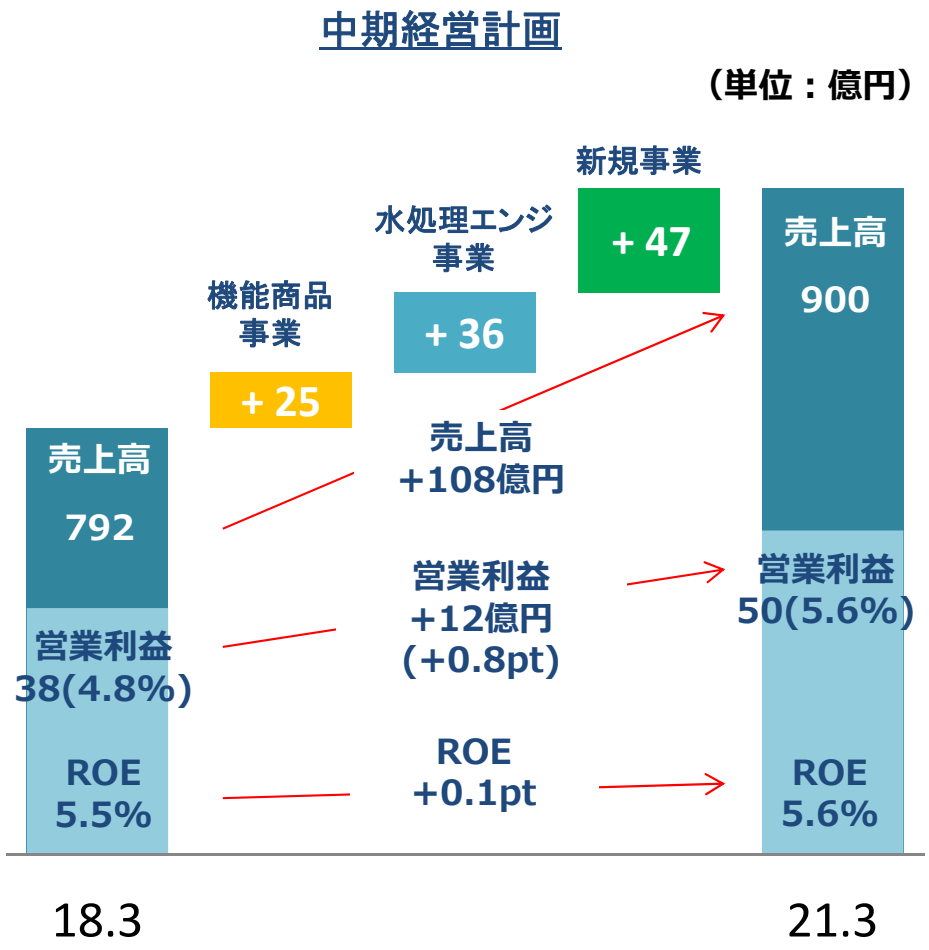
研究開発投資の強化

- 成長のドライビングフォースとして研究開発投資を強化
- 売上高研究費率 2.5% を目標に投資を拡大
- 高度な微細化・超純度ニーズに応える分離・精製・分析技術を強化





中期経営計画の概要



機能商品事業

標準型機器や水処理薬品の新商品開発、海外展開の強化、食品分野の製造技術強化により事業の拡大を図る

水処理エンジ事業

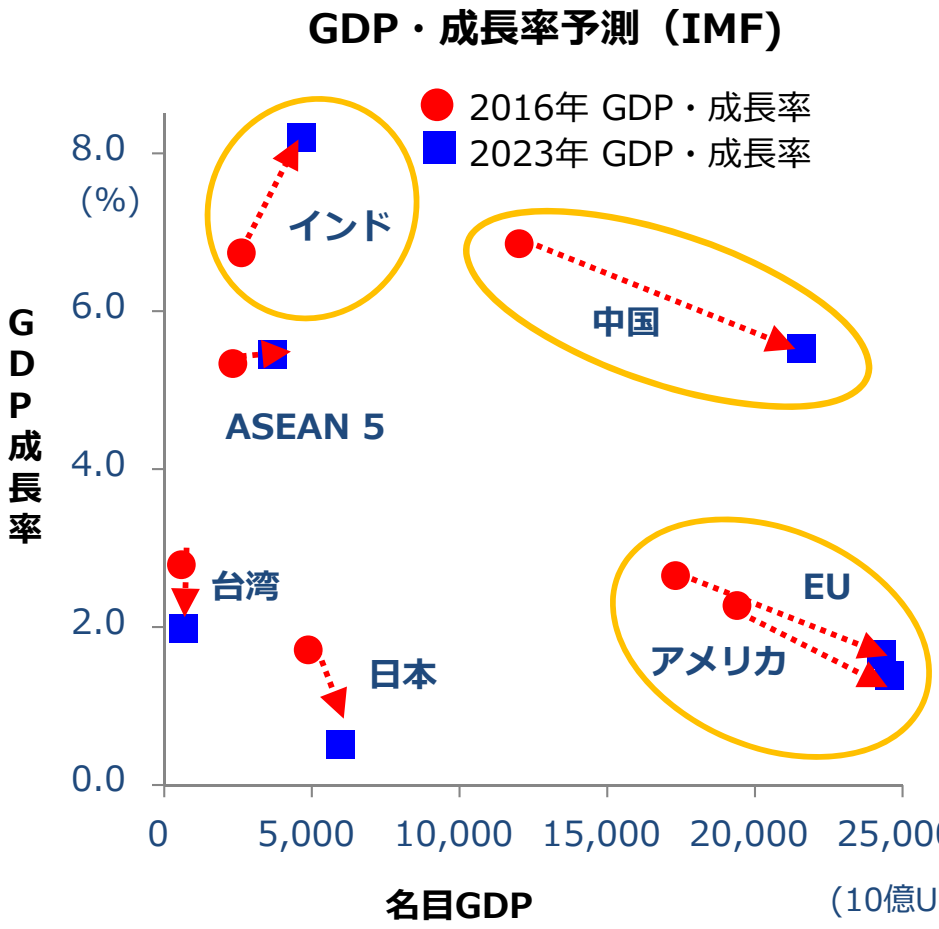
積極的な設備投資計画が続く中国の電子産業分野でのシェア拡大やソリューションビジネスの強化図る

新規事業

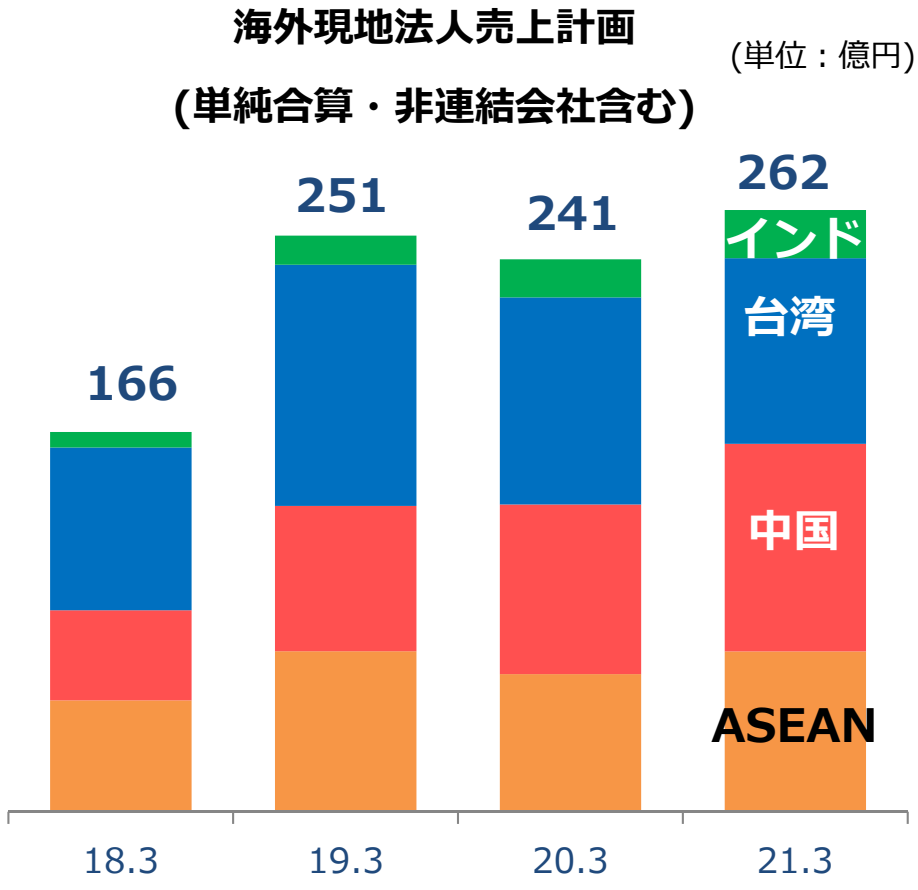
EVなどで拡大が見込まれるLiB市場、微細化進む半導体関連の電子材料分野、バイオ医薬分野での薬効成分抽出などに当社の分離・精製技術を展開

さらなる成長に向けて

海外市場を成長のドライビングフォースとして期待



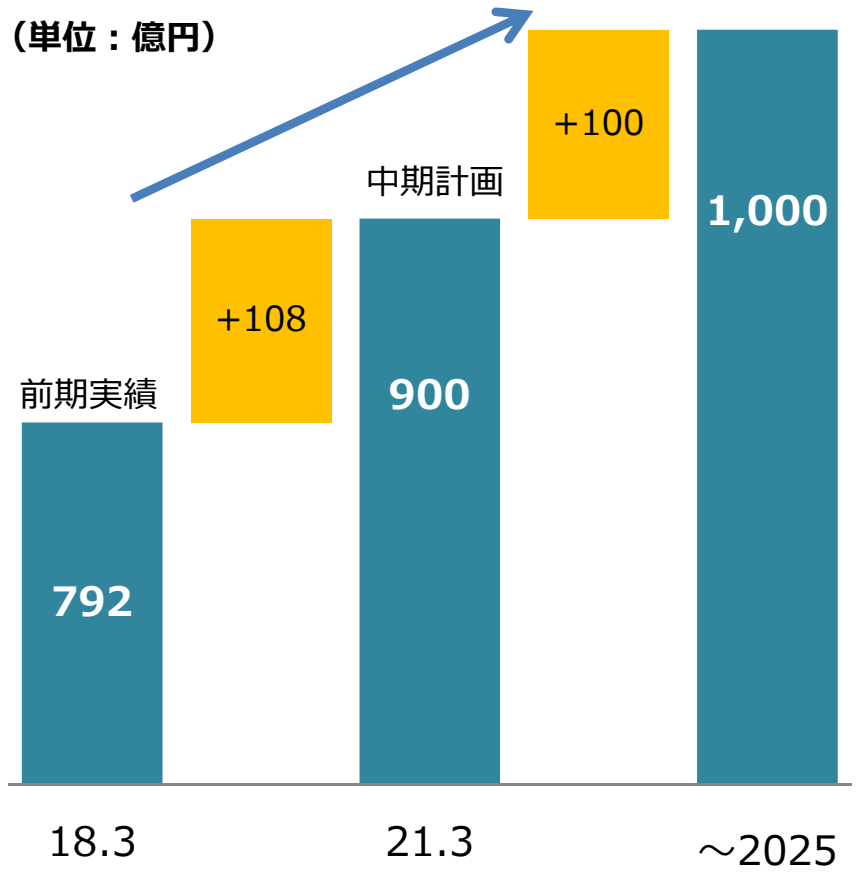
※ASEAN 5：マレーシア・インドネシア・タイ・ベトナム・フィリピン



※ASEAN:マレーシア・インドネシア・タイ・ベトナム

さらなる成長に向けて

2025年を目処に売上高1,000億円を目指す



インド市場への展開

急速な経済成長が続き、将来的に電子産業市場の拡大を期待。2015年設立の現地法人をベースに体制強化を推進

北米への再進出

最先端の半導体の製造プロセスや、大都市における上下水道設備の更新需要などをターゲットに最先端技術を展開

M&A・アライアンス

海外を中心に機能補完につながるM&Aやアライアンス、技術導入などの積極的な探索を進める

本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．新たな経営理念・ビジョン

4．中期経営計画

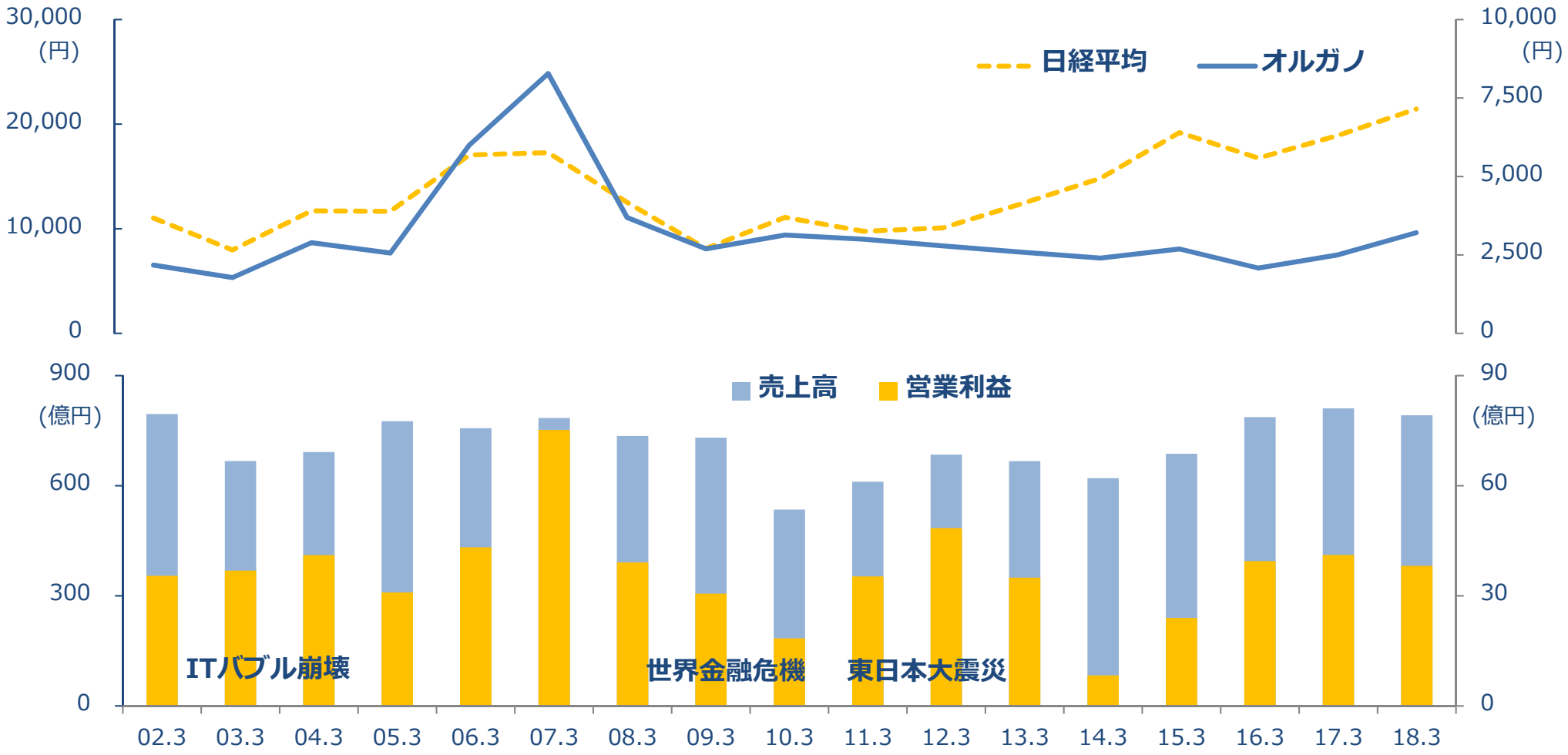
5．株価・配当金の推移

6．コーポレートガバナンス改革

7．会社概要

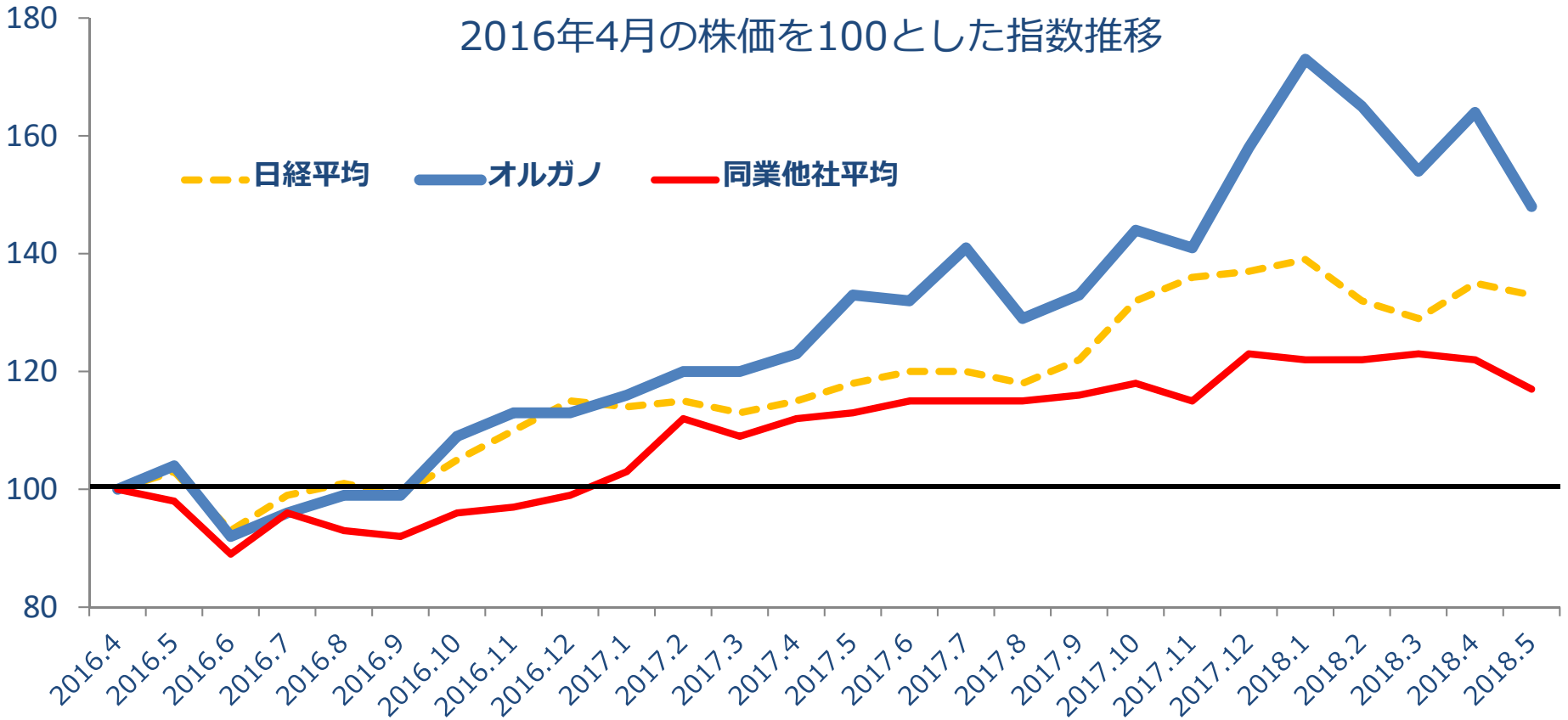
オルガノの株価・業績の推移

オルガノの株価は業績・日経平均との連動性弱い



オルガノの株価推移（2016年4月～）

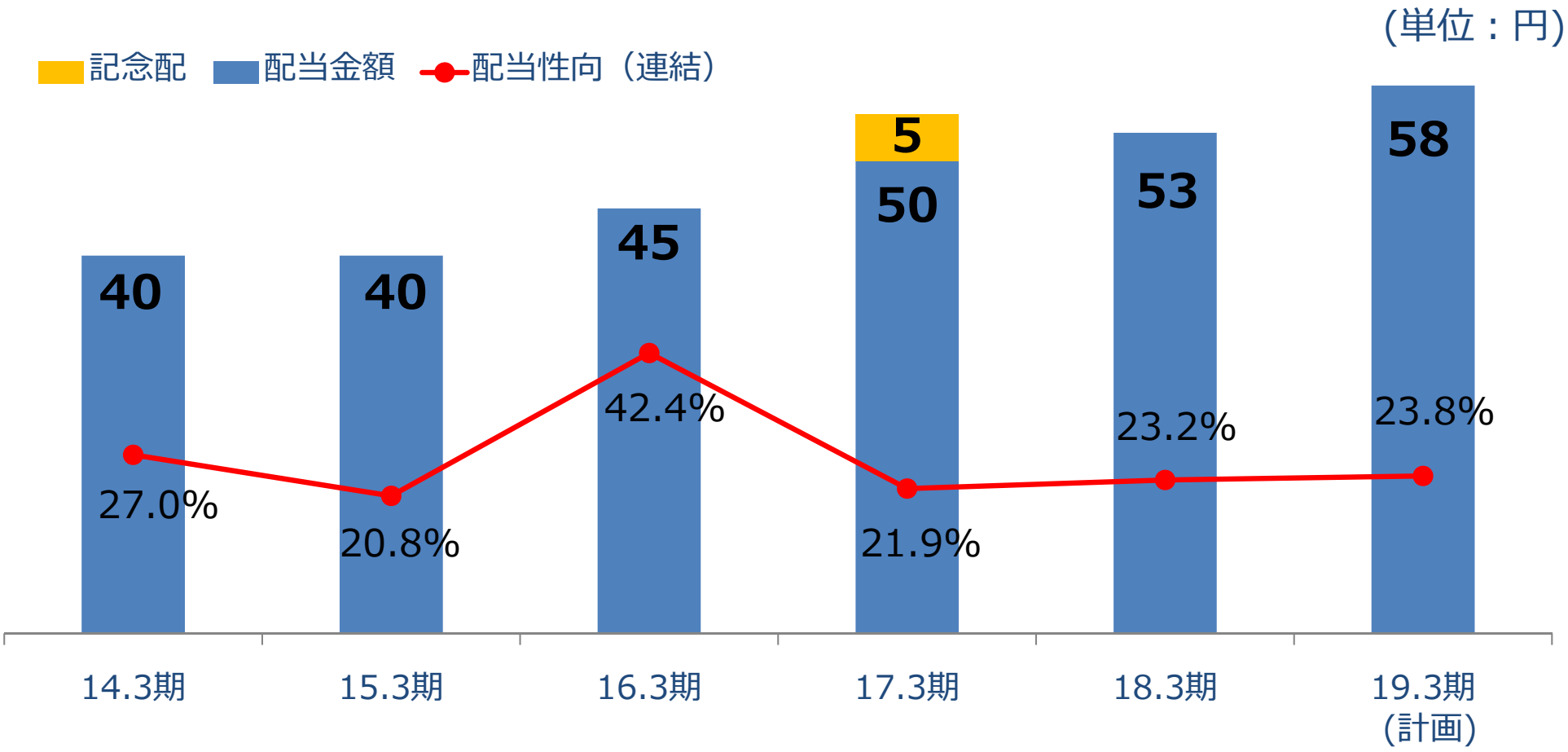
2017年以降、日経平均・同業他社を上回る水準で推移



配当の推移：安定配当・研究開発投資の両立図る

普通配当は4期連続増配を計画

（2016年は創立70年記念配当）



本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．新たな経営理念・ビジョン

4．中期経営計画

5．株価・配当金の推移

6．コーポレートガバナンス改革

7．会社概要

コーポレートガバナンスの改革

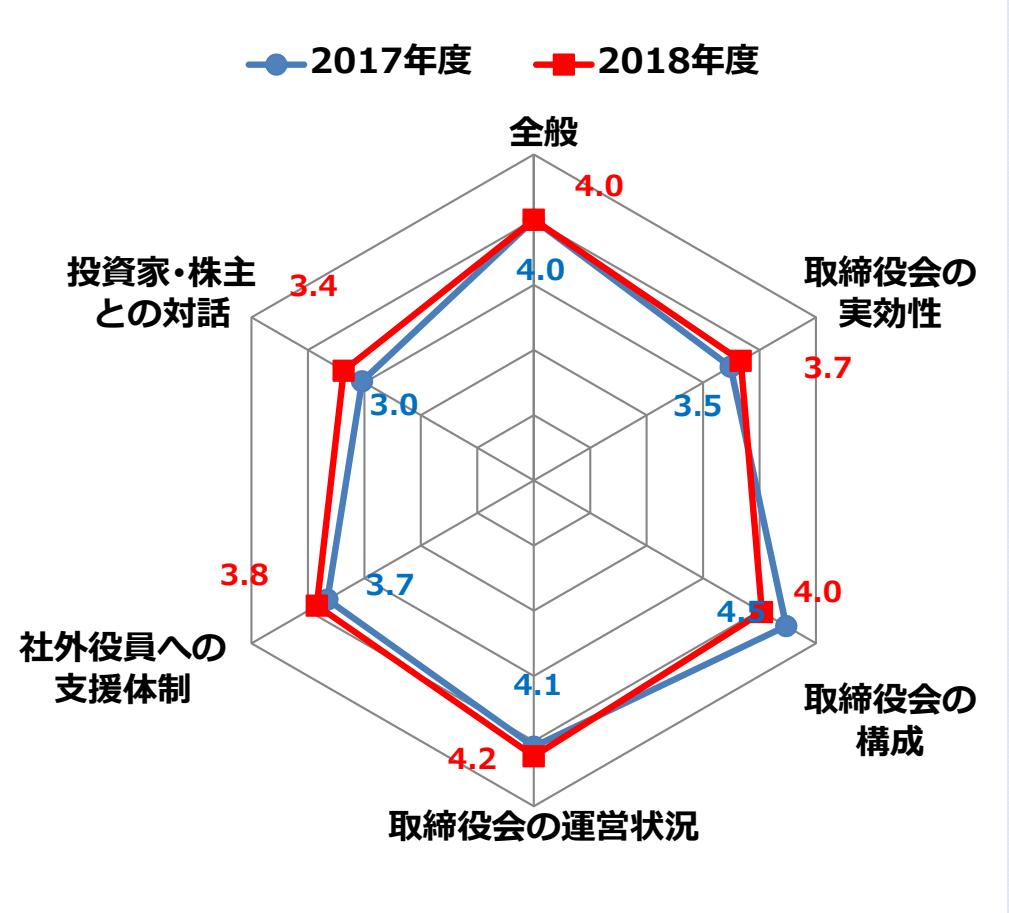
コーポレートガバナンス改革への取組み

■ **過去の取締役会実効性評価の概要と対応状況**

- **企業目的と社会的意義の再考**
  ⇒新たな経営理念と長期経営ビジョンを作成

- **役員報酬基準と決定プロセス**
  ⇒役員報酬制度の見直し（後述）

- **投資家・株主との対話の充実**
- **役員の選任に係る議論、取締役会の役割**
  ⇒改善に向け取り組みを進める

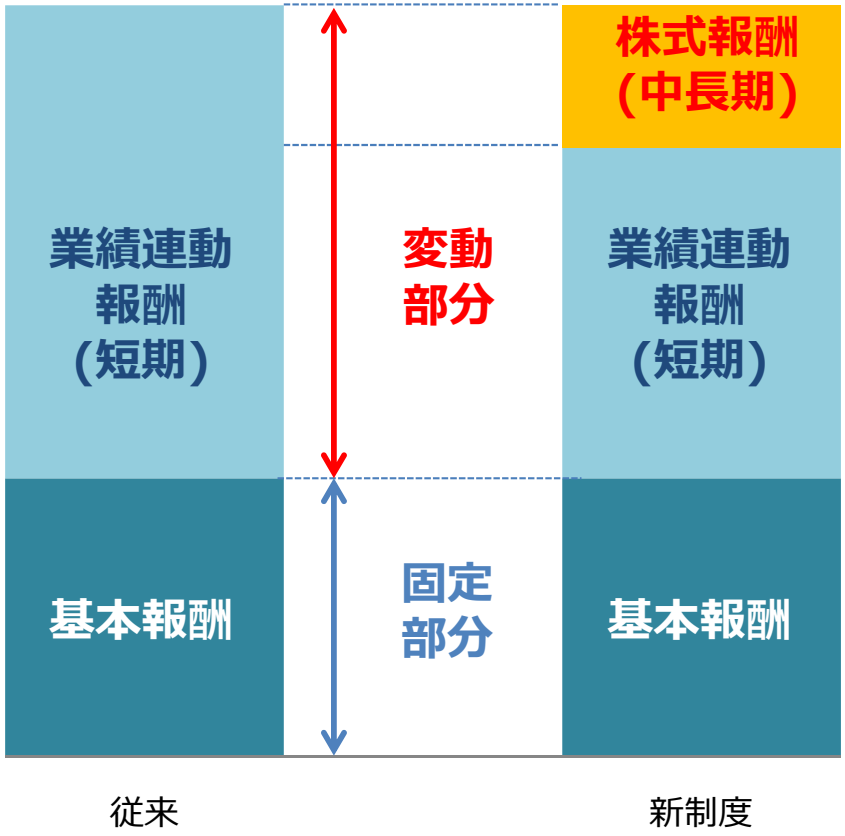


これまでの取り組み

課題 （取締役会実効性評価）	2016年度	2017年度	2018年度
会社の社会的存在意義や企業目的の議論・明確化が不十分	→	理念体系の見直し 新たな経営理念・ビジョンの策定	
取締役の報酬制度・基準決定プロセスに課題	報酬委員会設置 業績連動割合見直し	→	株式報酬制度導入
CSR活動が不十分	→	CSR専門部署設置 CSR報告書作成	
役員の選任基準が不透明・取締役会の関与が不十分	社長・取締役 執行役員の 資質・能力を規定	→	継続課題
IR活動が不十分	株主説明会 開催	IR担当者 増員 →	継続課題

役員報酬制度の見直し

役員報酬制度の見直し



■ **株式報酬制度の導入**

- 中長期的なグループ業績の向上と企業価値増大に対する役員の貢献意識を高めることを意図
- 2018年度より役員報酬の一部を業績連動型の株式報酬制度に改定
- ROE（自己資本利益率）を基準に業績の達成度に応じ、報酬として株式を交付
- 毎年交付を行い、交付から3年間は株式売却不可とする

本日の説明内容

1．オルガノの水処理技術

2．オルガノのビジネス展開

3．新たな経営理念・ビジョン

4．中期経営計画

5．株価・配当金の推移

6．コーポレートガバナンス改革

7．会社概要

会社概要

社　名	オルガノ株式会社（英名：Organo Corporation）		
本社所在地	〒136-8631　東京都江東区新砂1丁目2番8号		
設　立	1946年5月1日		
代表者	代表取締役社長　鯉江　泰行		
資本金	82億2,549万9,312円		
従業員数	2,179名（連結）　※2018年3月31日現在		
主な事業内容	水処理エンジニアリング事業	プラント事業	大型水処理設備の製造販売
		ソリューション事業	設備のメンテナンス・運転管理・改造工事等
	機能商品事業		標準型機器・フィルタ、水処理薬品、食品加工材の製造販売
主な事業所	本社（東京都江東区）、開発センター（相模原市）、 つくば工場（つくば市）、いわき工場（いわき市）、 北海道支店（札幌市）、東北支店（仙台市）、 関東支店（東京都江東区）、中部支店（名古屋市）、 関西支店（吹田市）、中国支店（広島市）、九州支店（福岡市）		

オルガノグループ 国内ネットワーク

■ オルガノ
- 本社
- 開発センター
- つくば工場・いわき工場
- 国内７支店
  35拠点（事務所・営業所）



【いわき工場】



【つくば工場】

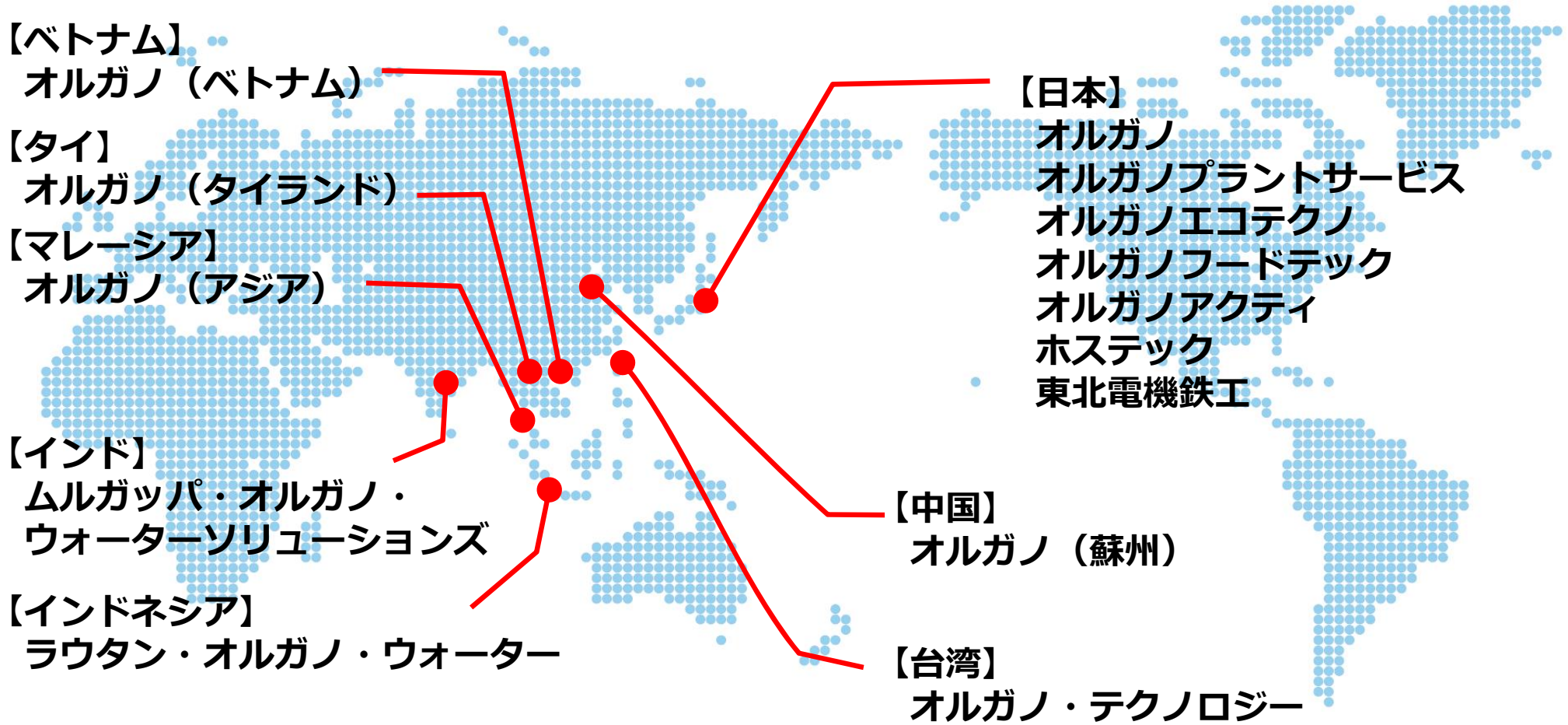
【開発センター】

【本社】

■ オルガノプラントサービス
- 5事業所
  23拠点（出張所）

■ オルガノエコテクノ
■ オルガノフードテック
■ オルガノアクティ
■ ホステック
■ 東北電機鉄工

オルガノグループ 海外ネットワーク



役員の状況（取締役）

氏名	役職	担当	主な経歴	主な兼職	専門分野
鯉江　泰行	取締役社長 代表取締役	社務全般	東ソー常務取締役、 トーソー・SMD,Inc CEO 他		有機化学 工学博士
内倉　昌樹	取締役兼 専務執行役員	機能商品本部	東ソー常務取締役、 トーソー・アメリカ,Inc 会長 他		機能材料 工学博士
堀　比斗志*	取締役兼 常務執行役員	経営統括本部	東ソー理事、 環境テクノ社長 他		生命科学 学術博士
明賀　春樹	取締役兼 常務執行役員	技術開発本部	当社開発センター長 他		生物処理工学 農学博士
塩見　正樹	取締役兼 常務執行役員	プラント本部	オルガノ北海道社長 他 （現 オルガノ（株））		
中山　泰利	取締役兼 執行役員	プラント事業部	オルガノアジア社長 他		
西澤　恵一郎	取締役		東ソー分析センター 社長 他	東ソー取締役 常務執行役員	金属工学 電子材料

＊ 建設業法における経営管理責任者（経営業務の管理責任者）

役員の状況（社外取締役・監査役）

氏名	役職	主な経歴	主な兼職	専門分野
永井　素夫	社外取締役 （独立役員）	みずほコーポレート銀行 常務執行役員(2011年退任）、 みずほ信託銀行代表取締役 副社長（2014年退任）他	日産自動車社外監査役 日清製粉グループ本社 社外監査役	
照井　恵光	社外取締役 （独立役員）	経済産業省関東経済産業局長、 同省地域経済産業審議官 （2013年退官）他	宇部興産社外取締役 ブリヂストン社外取締役	化学物質管理 工学博士
豊田　正彦	常勤監査役	東ソー理事、 トーソー・ヘラスA.I.C.社長 当社取締役兼常務執行役員 他		
濵田　治	社外監査役	東ソー常務取締役、 日本ポリウレタン工業社長 他		
和田　正夫	社外監査役 （独立役員）	あずさ監査法人代表社員 （2012年退任）他	和田公認会計士事務所代表 日新製糖社外監査役	公認会計士

オルガノ株式会社



お問合せ先

経営統括本部　経営企画部

TEL : 03-5635-5111／ FAX : 03-3699-7240／E-mail : info@organo.co.jp

https://www.organo.co.jp/

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、
リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。